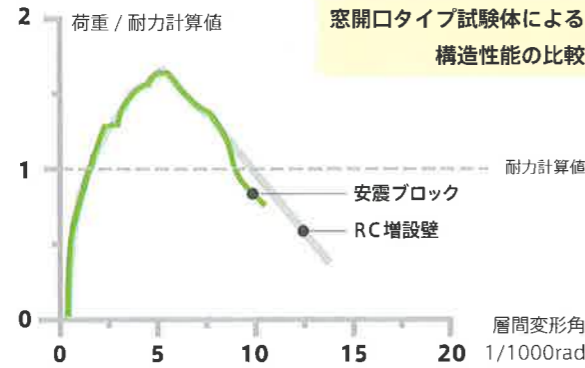




構造性能

フレーム載荷実験をはじめとする各種の構造実験を行い、従来のRC増設壁と同等の耐震補強効果が得られることを確認しました。

右写真、およびグラフはアンカー工法でのフレーム載荷実験結果です。



従来工法との比較

RC増設壁には、大掛かりな型枠やコンクリート打設が必要ですが、安震ブロックは、ブロック内に高流動モルタルを充填するだけなので狭いスペースで施工が可能です。

安震ブロック (RM耐震補強工法)



従来工法 (RC増設壁)



各種耐震補強工法の比較

	RC増設壁	ブレース補強	安震ブロック (RM増設壁)
工期	△	○	◎
施工性	△	△	◎
コスト	○	△	○
耐力	◎	○	◎
重量増	△	○	△

安震ブロック

安震ブロックはRMユニットを組積して増設耐震壁とする耐震補強工法です。建物を使用しながら工事を行うことができます。



お問い合わせ先

RM耐震補強工法協会

<http://www.rm-taishin.jp/>

事務局

太陽サーブ株式会社

<http://www.taiyo-surv.com/>

本社

〒553-0006
大阪府大阪市福島区吉野 4-22-9
TEL 06-6466-6756 FAX 06-6466-6759

エコブロックグループ
SURV
TAIYO SURV CO., LTD.

東京支店

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷 5丁目 29-11-8F
TEL 03-5366-6488 FAX 03-5366-6878

安震ブロックの4つの特長

1

騒音振動の低減

定着プレートの接着工法、高流動モルタルの使用で、騒音・振動を大きく低減。

2

省スペース

材料置場が小さく、脚立作業でスペース要らず。コンクリートポンプ車も不要。

3

工期短縮

型枠脱型や養生要らず。RMユニットを用いて省力化し、工期も大幅短縮。

4

CO₂軽減

型枠材低減、コンクリートポンプ車不要、バイブレーター不要。



工法分類

接合方式



補強形式



開口の適用範囲

窓・ドア用の開口を設けた増設耐震壁とすることもできます

アンカー工法のみ適用

増設壁 増打ち壁



アンカー工法及び接着工法

増設壁 増打ち壁



注) 接着工法で増打ち壁の場合は不適用



増設壁施工手順

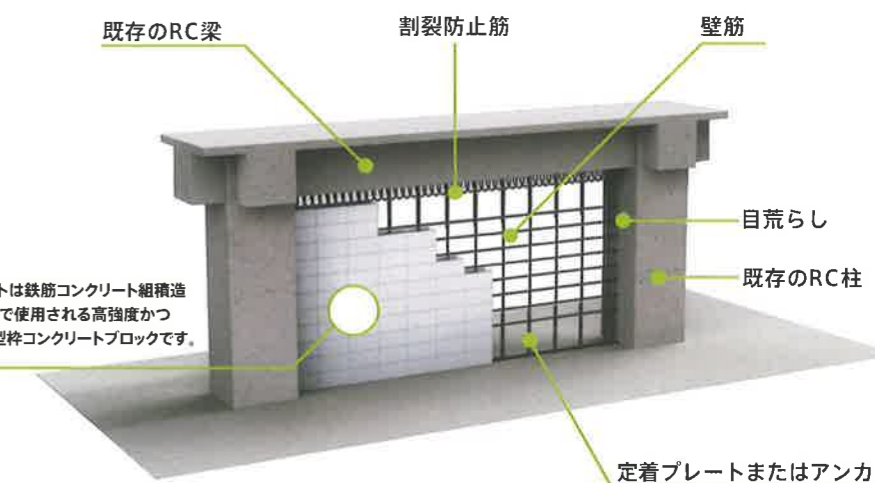
1 定着プレート、またはアンカーを設置します。



2 RMユニットの組積と壁筋の配筋を行います。



RMユニットは鉄筋コンクリート組積造 (RM構造) で使用される高強度かつ高精度の型枠コンクリートブロックです。



3 充填には流動性の高いモルタルを使用します。



4 RMユニットの内部にモルタルを充填します。



5 壁体上部の隙間に無収縮モルタルを注入します。



6 乾燥収縮ひび割れもなくRMユニットを仕上げ面とすることも可能です。

